

医療問題

問 小学校卒業までの医療費無料化実現を

答 次年度より段階的に引き上げたい



小林英雄議員

【子育て支援の充実】

問

群馬県が昨年4月から入院を、今年10月には通院費も、その無料化を所得制限なしで中学校卒業まで拡大したことは、大きな注目を浴びています。村でも早急に小学校卒業まで、所得制限なしで実現してはどうですか。

村長

村の財政状況を踏まえつつ、福祉医療給付についても将来にわたり持続可能な制度としていく必要があります。平成22年度から段階的に対象年齢を引き上げていきたいと考えています。

【村民バスの実現】

問

今年の4月からデマンドタクシーの本格運行が始まりました。年齢制限や事前登録と予約、対象は村民のみ、更に土日の運行がないことなど、村民の公共交通としては不十分です。

村長

村長は選挙公約でコミュニティバスの運行を掲げていましたが、デマンドタクシーとの関連をどう考え、村民バスの運行について現時点でどのような構想を持っていますか。

村長

平成20年3月に「白馬村地域公共交通会議」を設置し、「園児送迎乗合タクシー」と「デマンド型乗合タクシー」の具体的な運行計画について協議を重ね、昨年11月から本年3月まで試験運行を行い、本年4月1日より実証運行をしています。これらの結果を総合的に評価・

【新ごみ処理施設建設計画】

建設計画

問

6月1日の広域連合「ごみ処理特別委員会」で「ごみ処理施設建設に関する住民アンケート調査の結果に対する考察(案)」が示されましたが、総括としてはまだまだ不十分であると思います。

村長

考察の5項目の中で、総括されています。今後、議会とも相談し、5項目を反省しながら、村民が求めているところを把握するために、住民懇談会を開いていきたい。

問

ごみ処理の根本問題は、ごみをどれだけ減量するかです。「ごみ処理広域化基本計画」では、大町・白馬・小谷3市村の平成22年度のごみ減量目標を平成9年

度比15・2%としていますが、平成19年度ではどのようになっていますか。

環境課長

ごみ削減率はマイナス13・6%です。



元気なお年寄り